

にしく☆リーディングチャレンジ事業について

1 事業概要

児童が読書習慣の形成により主体的に学び続けることができる力を醸成するとともに、表現力や言語能力等の向上を図るきっかけづくりを目的に、区内小学校の児童を対象に「読み聞かせ」の機会を提供。また、読書に関連する区独自のイベントを開催し、読書活動の定着・拡大を図る。

2 現状と課題

- ①既存事業（体力向上事業）は、学校の規模によって不公平さが生じ、児童に十分な還元ができない。
- ②昨今の課題として、IT化が進む中、児童の読書離れが進み、学校図書以外の本に触れる機会が減少。
- ③全国学力・学習状況調査から、言語面や表現力に課題が見られた。

3 課題への対応

- 既存事業を廃止し、2つの視点（インプット・アウトプット）で新たな事業を実施

《インプット》 図書の読み聞かせ

- ・区内小学校全学級（R7.5時点167学級）を対象に、地域ボランティアや市立中央図書館と連携し「読み聞かせ」を実施
- ・読み聞かせに使用した本はそのまま学級に配架



《アウトプット》 本のしょうかいバトル

- ・児童生徒が「おすすめの本」を発表し、聴衆による投票で「最も読みたくなった本を決定するコミュニケーション・ゲーム大会」の開催
- ・地域、企業、行政の産官民連携により実施



- ◆児童の読書意欲等を高めるとともに、子どもたちの“読む・考える・伝える”力を育む
- ◆本の力で子ども・地域・企業が交流し共感できる場を創出し、一体となって子どもたちを支える環境づくりをめざす

西区中学生の海外派遣事業について

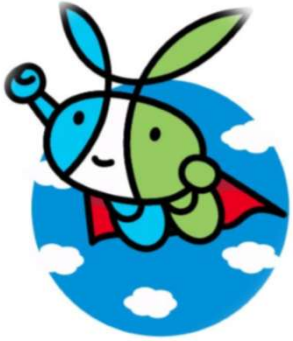
1 事業目的

区内の中学生を海外に派遣し、異文化や社会を体験することでグローバルな視野と主体性を持つ人材育成のきっかけにするとともに、万博のレガシーの定着、継続を図る。

帰国後、生徒たちの経験を地域に還元し、学校や地域社会の国際化・魅力向上に貢献することで、次世代を担うリーダーの育成を力強く推進する。

2 事業内容

項目	内容
派遣対象	区内の公立中学校に在籍する中学生 9 名（各中学校 3 名）
派遣期間	約 1 週間（令和 8 年 8 月上旬～）
派遣先	英語圏の国・地域（例：オーストラリア、シンガポール等を想定）
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・語学研修（英語コミュニケーション） ・現地住民・企業との交流活動、ホームステイ体験 ・学校、文化施設等の見学 など
帰国後の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・体験レポートの作成と区内全中学校への配付 ・報告会（発表会）の開催



3 事業の特徴

「成長著しい中学生期にこそ、異なる文化や価値観に触れる体験を」との思いから、地域の企業より寄附をいただき本事業実施。



“本物の体験”を通じて、子どもたちの可能性を大きく広げる。



